

上京中だより

【令和7年度 8・9月号】

校訓 人・もの・ときを大切に

学校教育目標 「自立・貢献・夢づくり」

～豊かな心とたくましく生きる力を備え、夢や希望をもって、

未来社会の創り手となる生徒の育成～

「2学期が始まります～成長するとは“変わる”こと～」

「三日会わざれば刮目(かつもく)して見よ」という慣用句があります。原文は『三国志演義』が出典で、呉(ご)の武将「呂蒙(りょうもう)」の故事から出ています。こんな逸話(いつわ)です。

呂蒙という人は、呉王(ごおう)孫権(そんけん)に度々重んじられてきましたが、家がもともと貧しく、学問に触れる機会もなかったこともあり、武力一辺倒で学問に全く興味のない人でした。そのため、書類なども自分が話した内容を聞き取らせて、部下に作成してもらっていたそうです。

そんな呂蒙を見かねた呉王孫権は呂蒙に学問を勧めましたが、呂蒙は「軍中は何かと忙しく、書物を読む時間を取れない」と言い返していました。しかし、孫権は「博士になろうとしなくていいから、歴史を見渡して見識を広めてみてはどうか」と、どの書物を読んで学ぶべきかを教えたともいいます。国王の言葉に呂蒙は、勉学にも本腰を入れ、やがて本職の儒学者たちをしのぐほど読書をし、勉強を続け、見る見るうちに教養を身につけます。勇猛(ゆうもう)なだけで無学であった呂蒙を軽蔑(けいべつ)していた知識人の魯肅(ろしゆく)は、日に日に上がる呂蒙の評判を聞いて挨拶(あいさつ)に向かいました。実際に語り合った呂蒙は、以前とは比べ物にならないくらい豊かな学識を兼ね備えた大人物へと成長していたのです。

おどろいた魯肅は、「昔言われていた『呉下の阿蒙』であったとはとても思えない」と称賛(しょうさん)しました。これに対して呂蒙は「士別れて三日、即(すなわ)ち更(さら)に刮目(かつもく)して相待すべし」、つまり「士たるもの、別れて三日もすれば大いに成長しているものであって、また次に会う時には目をこすって違う目でみなければなりませんよ」と答えたのです。その後、呂蒙は三国志の表舞台で大活躍します。

この慣用句も、三日間というわずかな時間でも人間は変わることができるということを言っているのですが、この呂蒙の逸話から、みなさんには3つの大切な事をわかってもらいたいです。

1 つ目は、孫権が呂蒙に学問を勧めたこと。つまり、変わるための「きっかけ」があったということ。

2 つ目は、呂蒙が変わることができたのは、変わるために勉学に励むなど努力を続けたということ。つまり、人は自分の考え方や行いを「変える」ことで、「変わる」ということ。

3 つ目は、呂蒙は、自分のためを思って言ってくれる孫権の言葉を「素直」に受け入れたこと。

つまり呂蒙は、孫権の言葉を「きっかけ」に、「素直」にその言葉に従い、自分を「変える」ための努力を惜しまなかったことで大いに成長できたのです。

この 2 学期、生徒の皆さんは、多くの「きっかけ」に出会えると思います。そんな「きっかけ」をうまくつかんで、自分を変えてみませんか。この逸話からもわかるように、私が考える「学校生活の中でいろいろなことを学んで、成長(成熟)した」ということの証(あかし)は、ただひとつです。それは「変わる」ということなのです。学校に来る重要な理由の一つは、「人と繋がるための言葉や動作を学ぶこと」、だと私は思っています。「挨拶」が気持ちよくできることもその一つです。そうして学んだ言葉や動作を使って多くの人と繋がりと、関係性を広げ、自分自身を大きく広げることができるきっかけを逃さずつかみ取ってください。

そして、誰かに「(良い意味で)変わったね」と言われたときには、「士別れて三日なれば、即ち更に刮目して相待すべし」と…。

6月末 7・8月の行事いろいろ

園芸活動

6月26日(木)、全校生徒による校内美化活動は残念ながら雨天で中止となりましたが、同時に実施を予定していました園芸活動については、学校運営協議会やPTAの皆様に参加していただき実施いたしました。あらかじめ管理用務員さんが土や日々草の苗を準備していただいていたおかげで、段取りよく植え付けを終えることができました。ご協力いただいた学校運営協議会ならびにPTAの皆様、ありがとうございました。



1年生 体験型学習「ジョイ JOB LAND」

6月30日(月)、京都まなびの街生き方探究館の「JOB LAND」において、生徒が求職者(就職活動をする学生)になり、「JOB LAND」で開催される「就職活動支援セミナー」に参加する模擬体験を行いました。「JOB LAND」では、企業の社員の方から仕事内容や企業理念等の説明を聞き、提示される「job Mission(業務課題)」について、グループで話し合い、企画・発表する「業務の実践体験」、また、企業ブースで企業研究などを行う「就活準備の実践体験」に取り組みました。2つの活動体験を通して、未来社会で必要となる「解決すべき課題を見出し、主体的に考え、表現する力」や「対話や協働を通じて、新たな価値や納得解を生み出す力」の育成を目指しています。



人権学習

7月9日(水)5・6限に、全学年で人権学習を行いました。1組は、「パラスポーツと障がい者雇用について考える」、1年生は、「あっていいちがい、あってはいけないちがい～固定観念や先入観から自由になる～」、2年生は「日本における外国人の人権・社会にある多様な人権問題・人権学習を総括する」、3年生は、「同和問題と人権」という主題で学習しました。日常の生活において、今回の学習で学んだことが意識されて自分の行動につながられるかが大切です。学んだことが、これからの気づきにつながり、自分自身の正しい行動につながることを願っています。



外部講師による学習教室

各学年で講師を招いて、生徒を取り巻く諸問題についての講演会を開きました。1年生は、7月16日(水)に京都府警スクールサポーターの方による「スマホ・ケータイ教室」、2年生は、7月14日(月)に京都府警少年課の方による「非行防止教室」、3年生は、7月15日(火)に上京区保護司会と京都府健康福祉部の方による「薬物乱用防止教室」を行いました。1年生は、スマートフォン・携帯電話の安全な使い方やSNS利用時の注意点、トラブル事例と対処法等について学習しました。2年生は、「暴力」、「万引き」、「いじめ」、「ケータイ」、「性課題」、「薬物乱用」など非行を防止することへの理解を深めました。3年生は、「薬物とは何か(種類・作用)」、「薬物乱用の背景と社会的影響」、「薬物に関する法律と罰則」、「誘いを断る勇気と方法」、「自分の命と未来を守る選択」等について学習しました。

SANKON の愉快的仲間たち

7月18日(金)、北区・上京区内の中学校・支援学校の生徒会メンバーが集まり、支部生徒会交流会が開催されました。今回は二条中学校を会場にしての開催でした。各校の生徒会活動について交流し、その後は自分たちが思う「めざす学校像」について協議しました。今後、8月26日(火)には、全市の生徒会が集まる生徒会サミットにも出席します。二つの会で得た知識や情報を活かして、上中の生徒会活動を益々活性化してもらえればと思います。



部活動報告

野球部	上京中 - 嵯峨中	7-8
サッカー部	上京中 - 洛南附属中	3-0
	上京中 - 同志社中	1-1(PK3-2)
	上京中 - 京都精華学園中学校	1-8
バレーボール部	上京中 - 久世中	2-0
	上京中 - 蜂ヶ岡中	0-2
バスケットボール部	上京中 - 藤森中	21-24
卓球部 団体戦	上京中 - 久世中	3-2
	上京中 - 桎原中	0-3
卓球部 個人戦	ブロック予選ベスト16 1名(全市決勝大会出場)	
ソフトテニス部 個人戦	予選 3回戦敗退	
ソフトテニス部 団体戦	上京中 - 開晴小中	3-0
	上京中 - 京都御池中	0-2
陸上競技部	通信陸上競技大会・記録会出場	
	京都府大会出場 走り幅跳び・走り高跳び	
水泳部 京都市大会 <u>男子総合2位</u>	男子 400m メドレーリレー3位 女子 400m 個人メドレー2位	
	男子 400m 個人メドレー4位 男子 100m 自由形4位	
	男子 100m 平泳ぎ8位 男子 50m 自由形3位	
	女子 200m 個人メドレー4位 男子 200m 個人メドレー4位	
	男子 200m 平泳ぎ8位 男子 400m フリーリレー2位	
	<u>京都府大会</u> 男子総合5位 以下 <u>近畿大会出場</u>	
	女子 200m個人メドレー3位 男子 200m個人メドレー6位	
	男子 50m自由形5位 男子 400mメドレーリレー5位	
	女子 400m個人メドレーリレー4位	
吹奏楽部	京都橘大学・龍谷大学付属平安高等学校と合同練習 京都府吹奏楽コンクール 銀賞受賞	
社会情報部	島津製作所訪問	

